

「生活道路対策エリア」の取組事例 はこだて まつかけ (函館市松陰地区の事例)

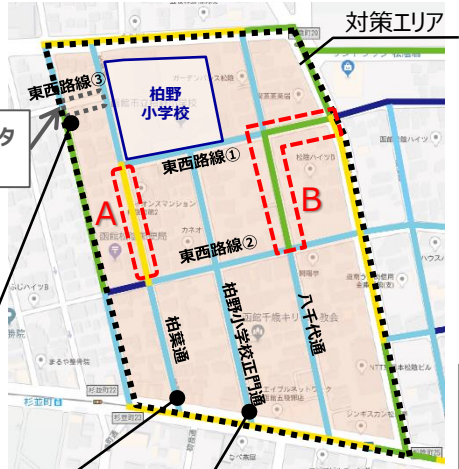
**ゾーン30路面表示
路側帯設置・規制標識**

- 当該エリアは渋滞回避等の抜け道として利用され、通過交通が多いため、速度抑制対策を実施(ゾーン30路面表示・規制標識)
- エリア内は住宅街で小学校もあり、歩道や路側帯がない箇所もあるため通学路の安全対策を実施(路側帯設置)
- 函館市で開催される通学路安全対策会議を活用し、地元関係者と取組み情報を共有(H31年2月を開催予定)
- エリア全体では走行速度が約7%減少し、最大で走行速度が34%減少するなど速度抑制効果が発現

取組概要



対策前
対策前データ
取得なし



ビッグデータ分析結果

対策後



○通学路安全対策会議の活用
H31.2(開催予定)：通学路安全対策会議において生活道路対策エリアの取組状況についての情報提供

資料：ETC2.0プローブデータ(対策前H28.8-9、対策後H28.11-12)

整備状況



整備効果

○速度指標の変化状況

	対策エリア内の速度変化		
	エリア内全体	A区間	B区間
対策前	16.4km/h	32.7km/h	20.7km/h
対策後	15.3km/h	27.1km/h	13.6km/h

(▲6.7%) (▲17.1%) (▲34.3%)

【出典】1:履歴点データ:ETC2.0プローブデータ(対策前H28.8-9、対策後H28.11-12)
2:背景地図:Google map